

# ASSABU

あっさぶ  
広報厚沢部  
ASSABU Town 2026.1  
Vol. 745

# 2026

# 迎春

【表紙：高野勝紀さん宅のサクラ(女の子)】



# 2025年の厚沢部町のあゆみ

(2月)  
「142年の歴史に幕」



▲『鵜小学校 閉校式』(3月号)

(4月)  
「脱炭素推進・防災力強化のため」



▲『電気自動車が2台納車!』(5月号)

(9月)  
「あっさぶメイクイン100周年記念!」



▲『町総合グラウンドで記念イベント』(10月号)

(10月)  
「第12回大収穫祭inあっさぶ」



▲『10kgピッタリチャレンジ』(11月号)  
▼『100周年記念ポテトチップス販売も大盛況』

(7月)  
「新協力隊が着任」



▲『北村奈津希さん』(8月号)

2026年

皆様にとって良い1年  
となりますように。  
今後とも広報あっさぶ  
をご愛読よろしくお願  
いいたします。

(11月)  
「新・緑町ふれあいセンターOPEN」



▲『指定管理者は「厚沢部町森林組合」に』(11月号)

(11月)  
「㈱キッチンハイクが厚沢部町へ本社移転」



▲『移住交流センター(上里)へ本社移転』(12月号)

(11月)  
「道の駅物産館飯店舗がOPEN」



▲『建替え工事のため飯店舗営業を開始』(12月号)

(7月・8月)  
「フィリピンからダイバーシティ・インストラクター(協力隊)が2名着任」



▲『ローズ・ネイ・サリーノさん』(9月号)



▲『オガバン・カイラ・カカスさん』(10月号)

(10月)  
「新プロジェクトマネージャーが着任!」



▲『蔡越先さん』(12月号)

## ゆく年あっさぶの1年

2025年も広報あっさぶをご覧いただきありがとうございました  
2025年の主な出来事を広報あっさぶで振り返ります



安心して暮らせる  
まちづくりを



厚沢部町長  
佐藤 正秀

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

希望に満ちた令和8年の輝かしい新春を、皆様と共に迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。また、旧年中は、町政の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

今年は町長に就任して4年目となり、任期の最終年度となりますが、町政における課題はまだまだ山積しております。引き続き、町民の皆様が、真に幸せを実感できるまちづくりに取り組んでいく所存でありますので、変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと2025年の世相を表す

「今年の漢字」に「熊」が選ばれたように、全国でクマによる被害が相次いだ一年でありました。道南でもヒグマの市街地出没が多発し、福島町では7月にヒグマに襲われて男性が亡くなるという痛ましい事故が発生しました。9月から緊急銃猟制度が始まりましたが、まだまだ課題が多いものと認識しております。地元猟友会や警察と緊密に連携し、安全対策と被害防止に取り組んでまいります。

また、昨年8月には大雨による農地等の被害が発生しました。復旧対策として補助上限を引き上げ、被災者への支援を進めてきたところでありますが、こうした激甚化する災害に備え新たな防災情報配信システムを4月から導入し

ます。スマートフォンへの迅速な情報提供に加え、スマートフォンをお持ちでない方には戸別受信機を無償貸与し、情報伝達体制を強化します。今後も防災体制の一層の強化を図り、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

国政に目を向けますと、昨年10月、憲政史上初の女性総理大臣が誕生しました。高市総理は強いリーダーシップのもと「責任ある積極財政」の考えに基づき、物価高対策などを柱とする『強い経済』を実現する総合経済対策』を取りまとめました。臨時国会で成立した補正予算では、各自治体が地域の実情に応じて使える「重点支援地方交付金」

を進めてまいります。

が予算措置されましたので、本町としましても、昨年末に早期予算化を図ったところで



町長就任以来、公約に掲げた事業を中心に着実に取り組むとともに、新たな施策も展開してまいりました。公約事業は概ね実施でき、令和7年度には国保病院や役場庁舎等の冷房設備設置工事や、新たな防災情報配信システムの構築等を実施しました。

また、重点事業としては保育園留學事業の一層の充実に加え、道の駅整備、脱炭素推進、義務教育学校整備や道営住宅整備の検討を進めております。特に新たな道の駅物産館は、売り場面積を1.5倍に拡大し、イベントスペースなどを設け、駐車場も拡張します。新たな道の駅は、厚沢部町の顔となり核となる施設であります。町の魅力発信基地として町民の皆様に愛される道の駅となるよう取り組んでまい

ます。スマートフォンへの迅速な情報提供に加え、スマートフォンをお持ちでない方には戸別受信機を無償貸与し、情報伝達体制を強化します。今後も防災体制の一層の強化を図り、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

国政に目を向けますと、昨年10月、憲政史上初の女性総理大臣が誕生しました。高市総理は強いリーダーシップのもと「責任ある積極財政」の考えに基づき、物価高対策などを柱とする『強い経済』を実現する総合経済対策』を取りまとめました。臨時国会で成立した補正予算では、各自治体が地域の実情に応じて使える「重点支援地方交付金」

を進めてまいります。

本町は明治9年（1876年）5月に戸長役場が設置されて以来、今年が150周年という歴史的な節目を迎えます。これまで厚沢部町の発展に寄与されてきたすべての方々に敬意を表し、深く感謝するとともに、町民の皆様とともに祝い、喜びを分かち合いたいと考えております。

真に豊かな厚沢部町を築いていくためには、行財政改革の推進と同時に、新たな発想と英知を結集し、町政を進めていくことが肝要であります。私は、町民一人ひとりの協働と融和こそが、元気で力強いまちづくりの基本であると考えております。

町民の皆様の期待と信頼にお応えするため誠心誠意、課題解決に邁進してまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。結びにあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

謹賀新年



副町長  
合浦博昭



教育長  
高野政人

◆総務財政課

課長	安田光
兼総務係長	中里孝子
兼総務係	青柳秀和
兼情報管理係	柴崎重博
兼情報管理係	三上裕介
兼情報管理係	福田亜矢子
兼情報管理係	小森賢人
兼情報管理係	大山剛弘
兼情報管理係	三上信
兼情報管理係	谷口方基
兼情報管理係	大山かのこ

◆政策推進課

課長	津野修
兼政策推進係	佐藤武徳
兼政策推進係	中川一秀
兼政策推進係	木口孝志
兼政策推進係	荒木敬仁
兼政策推進係	浅野目裕太
兼政策推進係	松本琴音

◆住民税務課

課長	安沢富士子
兼住民係	三上光憲
兼住民係	三戸康彰
兼住民係	藤八伸太郎
兼住民係	丸山祐樹
兼住民係	増田廉
兼住民係	増田美咲
兼住民係	島津孝継
兼住民係	三上夏依

◆保健福祉課

課長	安達達也
兼保健福祉係	板坂勇
兼保健福祉係	増田聡
兼保健福祉係	亀井祐作
兼保健福祉係	山田陽喜
兼保健福祉係	三橋玲子
兼保健福祉係	米田茜
兼保健福祉係	並川麻子
兼保健福祉係	木村千律

健康増進係

小森麗奈

主幹

森英治

健康増進係

笹森志穂

兼土木係

坂田康太郎

健康増進係

對島彩夏

兼土木係

船瀬祥太

健康増進係

橋端茉羽

兼土木係

福島耕

健康増進係

小西智晴

兼土木係

久保田和敏

健康増進係

斎藤紋子

兼土木係

紺野和美

健康増進係

林慶太

兼土木係

山田拓也

健康増進係

橋端純恵

兼土木係

森ゆかり

健康増進係

西村智香

兼土木係

丸山智美

健康増進係

朝倉美樹

兼土木係

藤田智美

健康増進係

月居茜

兼土木係

首藤浩平

健康増進係

高田智美

兼土木係

沼下利弘

健康増進係

佐藤舞

兼土木係

石井淳平

健康増進係

亀井透音

兼土木係

太田聡子

健康増進係

東谷拓

兼土木係

加藤一義

健康増進係

宮本修太

兼土木係

山田蒼良

健康増進係

沼下利弘

兼土木係

佐藤優平

健康増進係

杉野剛

兼土木係

富塚龍

健康増進係

川瀬皓太

兼土木係

安田光

健康増進係

鈴木隆二

兼土木係

青柳秀和

健康増進係

西里太壺

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

上條公大

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

中里知弘

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

鈴木隆二

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

川瀬皓太

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

吉田友耶

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

杉野剛

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

川瀬皓太

兼土木係

柴崎重博

健康増進係

鈴木隆二

兼土木係

柴崎重博



新年のご挨拶

厚沢部町議会議長

鈴木祥司



新年明けましておめでとう  
ございます。

輝かしい令和8年の新春を  
町民の皆様と共に迎えられま  
すことを心からお慶び申し上  
げます。併せて、皆様には日  
頃から議会に温かいご理解と  
ご協力を賜り、心から厚くお  
礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、令  
和7年10月21日に高市内閣が  
発足しましたが、公明党が連  
立政権から離脱したため、衆  
議院・参議院ともに少数与党  
政権となり、高市内閣にとつ  
て厳しいスタートとなりました。  
そのような状況の中でも  
高市総理は、所信表明の中で  
「責任ある積極財政」という  
新たな方針を掲げ、「積極財  
政により、所得を増やし、消  
費マインドを改善し、事業収  
益が上がり、結果として税収  
が増える」という道筋を示し

ております。これは、地域の  
未来を見据えた持続可能な発  
展を実現するために必要な投  
資を躊躇せず行うとともに、  
その責任を果たしていくとい  
う決意表明です。本町もこの  
方針を踏まえ、地域経済の活  
性化やインフラ整備、子育て  
支援や高齢者福祉の充実など  
多岐にわたる施策を積極的  
に推進する必要があります。

地域の特徴を生かした取り  
組みも重要です。例えば、本  
町の自然資源や伝統文化を大  
切にし、それらを観光や地域  
ブランドの強化につなげるこ  
とで新たな雇用や交流人口の  
拡大を目指しています。また、  
デジタル化やICTの導入に  
よる行政サービスの効率化も  
進めており、町民の皆様がよ  
り便利で快適な暮らしを送れ  
るよう努めております。

このように、行政の果たす

農業委員会だより

vol.129



会長 明 崎 外

新年あけましておめでとう  
ございます。令和8年の新年  
を迎え、謹んでお喜びを申し  
上げます。また、日頃より農  
業委員会活動に対しまして、  
特段のご理解とご協力をいた  
だき深く感謝申し上げます。

昨年を顧みますと、6月か  
ら8月にかけて平年を大きく  
上回る高温となり、作物の生  
育や収量等に大きな影響があ  
りました。さらに、8月19日  
から20日にかけての大雨によ  
り、多くの農地や農業水利施  
設等に甚大な被害が発生した  
年でもありました。今年こそ  
は、天候に恵まれ、穏やかで  
災害のない年になるよう祈念  
してやみません。

また、昨年4月より、農地  
の賃貸や売買につきまして

は、地域計画に基づき農地の  
集積を図ることとなり、農地  
中間管理機構（農地バンク）  
を経由する取引に原則一本化  
する制度改正がありました。

農地の所有者や耕作者の皆  
様におかれましては戸惑いも  
あったかと思えます。農地に  
関するご相談等がございまし  
たら、遠慮なく地元の農業委  
員や事務局へご相談下さい。

さて、農林業の実態把握を  
目的とした国の統計調査であ  
る「農林業センサス」の概数  
値が公表されました。調査は  
5年ごとに実施され、今回の  
公表値を見ますと、道内の個  
人経営の基幹的農業従事者  
は、5年前に比べ約19%減少  
しており、減少率が過去最大  
となるとともに、65歳以上が  
占める割合は42%となり1.5%  
上昇しています。一方で1経  
営体当たりの耕地面積は、5  
年前より4.3ha増加し34・55  
haとなっており、農地の集約



副議長 佐々木 宏

総務文教常任委員会

委員長 濱塚 久好

副委員長 香川 直樹

委員 佐々木 宏

委員 小野寺 孔

産業厚生常任委員会

委員長 高田 一弥

副委員長 松村 雄

委員 中山 俊哉

委員 山田 克哉

べき役割と責任は、ますます  
大きく、将来にわたって活力  
ある社会を維持していくため  
には、地域の特徴を出した取  
組みを推進していくことが重  
要です。当議会は行政との連  
携、またチェック機能として  
の役割を果たしていく所存で  
あります。

最後に、今後とも町民の皆  
様の更なるご支援とご協力を  
お願い申し上げ、迎えました  
新年が皆様にとって素晴らしい  
年でありますことをご祈念  
いたします。年頭のご挨拶  
いたします。

会長代理 外崎 明  
委員 吉田 藍  
佐藤 美登子  
木村 卓也  
斉藤 和博  
前田 秀幸  
下川 宏幸  
川口 和章  
西口 智豊  
奈良 弘人  
木口 幸弘  
佐藤 龍也  
由利 昭人  
佐藤 貴彦

（議席番号順）

化が進んでいると考えられま  
す。こうした傾向は、本町に  
おいても同様と考えており、  
担い手の確保や農地の集積・  
集約化の推進が急務となつて  
おります。農業委員会といた  
しまして、本町農業が抱え  
る諸課題の解消に取り組んで  
参る所存です。

最後になりますが、農業者  
の皆様におかれましては、今  
年1年間のご健勝とご活躍、  
秋の豊穡をご祈念いたしまし  
て、年頭のご挨拶とさせてい  
たきます。

▼農業者年金、売買・貸借・  
相続等の農地に関する事は  
農業委員会事務局  
（☎64・3314）へ

◆監査委員

（兼書記）

藤田 智美

首藤 浩平

佐々木 紀仁

岡本 悠

北川 幸

服部 常人

能代 一史

道島 洋子

鈴木 ゆきみ

溝口 真由美

丹保 麻美

高杉 裕美子

中川 麻子

杉野 麻美

増崎 麻希

青柳 裕美

鈴木 恵美子

鈴木 有希子

工藤 帆波

下川 智香子

千代 由香

深見 幸恵

山本 史歩

下川 紀子

◆厚沢部消防署

署長 福田 昭浩

次長 中山 博之

兼救急係長 太田 稔久

兼危険物係長 三崎 慶智

兼警防係長 下川 純

兼警防係長 松原 茂樹

兼警防係長 並川 光生

兼警防係長 酒井 遵樹

兼警防係長 森山 泰風

兼警防係長 柴田 直行

兼警防係長 庄山 一輝

兼警防係長 丹保 潤

兼警防係長 須藤 優輔

兼警防係長 唯 大介

兼警防係長 加澤 寛明

兼警防係長 松神 雅朗

兼警防係長 佐々木 智也

☆派遣

株式会社 ハチヤム

蛭名 拓斗



第4回町議会定例会

令和7年『第4回厚沢部町議会定例会』が12月9日(火)に開催され、  
令和7年度一般会計及び各特別会計の補正予算案6件、条例の一  
部改正案及び制定案4件、請負契約の締結案3件、人事案2件  
などが審議されました。なお、議事の詳細につきましては、『議会  
だより2月号』および『町ホームページ』でお伝えします。

一般会計予算を追加

山田氏が一般質問

令和7年度一般会計補正予  
算案は1億1587万9千円  
を追加し、総額を59億6千8  
68万1千円としました。補  
正の内容は、人事院勧告に伴  
う給料等の増、財政調整基金  
積立金、地域幹線系統バス運  
行費補助金、国保及び介護特  
別会計繰出金、簡易水道事業  
会計繰出金、農業集落排水事  
業会計繰出金、スマート農業  
等機械導入支援事業費補助  
金、産地生産基盤パワーアッ  
プ事業費補助金、後継就農  
奨励金、有害鳥獣対策費の  
増額、うずら温泉の修繕料増  
額、檜山広域行政組合消防費  
負担金の増額、学校給食賄材  
料費の増額などです。

請負契約の締結に同意

道の駅物産館改築に係る3  
件の工事請負契約の締結につ  
いて承認されました。

委員の選任及び推薦に同意

監査委員に岩田健二氏（字  
鶉・70歳）を再任、人権擁護  
委員に竹中忍氏（鶉町・64歳）  
を推薦することが承認されま  
した。



## 相馬 優氏が

### 叙勲『瑞宝単光章』を受章

12月8日(月)、永年にわたり消防職員として尽力された相馬優氏(赤沼町)の功績に対する叙勲伝達式が役場で行われ、佐藤町長から相馬氏に「瑞宝単光章」が伝達されました。相馬氏は昭和53年4月1日に檜山広域行政組合消防士を拝命。平成28年に檜山広域行



▲叙勲「瑞宝単光章」を受賞された相馬優氏(右)

## 小山正美氏が

### 『北海道社会貢献賞』を受賞

12月15日(月)、北海道社会貢献賞の伝達式が町長室で行われ、小山正美さん(緑町)へ町長から表彰状が伝達されました。小山氏は、平成17年6月より約20年間、町国民健康保険運営協議会委員を務められたほか、平成14年4月から学校歯科医としても務められており、永年の町民の健康推進に対する功績が認められました。



▲北海道社会貢献賞を受賞された小山正美氏(右)

## 下川部勝利氏が

### 『北海道知事感謝状』を受賞

12月4日(木)、北海道知事感謝状の伝達式が町長室で行われ、下川部勝利さん(字滝野)へ町長から感謝状が伝達されました。下川部さんは、平成9年から「農林業センサス」や「国勢調査」等の統計調査に従事され、その従事年数が10年に達したとして、感謝状が授与されました。



▲北海道知事感謝状を受賞された下川部勝利氏(右)

## 友好交流協定先

### 台湾・寿豊郷を訪問

11月28日(金)、佐藤町長をはじめとする使節団8名は、台湾花蓮県東部に位置する寿豊郷を訪問しました。厚沢部町と寿豊郷は令和5年3月に、観光や農業、地域創生の分野で協力し、交流を深めることを目的に、「友好交流協定」を締結しており、この度の訪問となりました。



▲寿豊郷役場で記念撮影。

かれ、記念品を交換したほか、寿豊郷特産品である寶石(翡翠)の研磨体験や淡水ロブスターの養殖場を視察し、寿豊郷の人々と交流を深めました。曾淑懿郷長(郷長は町長に相当)は、「台湾と日本はこれまでも良き友であり、厚沢部町と寿豊郷は手を携えて共に発展する一つの家族になるだろう」と述べられました。今回の訪問をきっかけに、厚沢部町と寿豊郷は今後より一層に相互利益と共存共栄を実現し、双方の地域交流の活性化と機運を高めることが期待されます。来年度には、曾淑懿郷長をはじめとする使節団が厚沢部町を訪問予定で、町長は「寿豊郷の皆様を大いに歓迎したい。相互の魅力を知り、多方面で協力し合おう関係性を今後もう育んでいきたい」と歓迎の意を述べました。

## 観光博覧会に参加

11月27日(木)～12月1日(月)の間、町夢現プロジェクト実行委員会の有志は台湾を訪問し、昨年に引き続き台北駅で開催された日本観光物産博覧会に参加しました。出展ブースで台湾の方へアンケート調査を実施した他、台湾旅行会社との商談会に参加し、檜山地域が旅行商品としての価値が高いことをPRしました。また、ステージでは厚沢部町のPR動画を放映しました。特に冬の雪景色には観客から感嘆の声が漏れました。



▲ステージにて厚沢部町をPRしました！

さらに市場調査も行い、日本製品の質への信頼性が高く、日本語がパッケージで多用されていること(特に「北海道」は人気であること)や、台湾産品と比べて高値での販売にもかかわらず、人気であることを確認しました。今回参加した松本主事(政策推進課)は、「台湾で日本の文化や食が人気であることを実感した。メーカー(そもそも馬鈴薯の品種)について知らない方が多く、今後のPRの余地が大きいことが確認できた」と述べました。



▲ブースにて台湾の方と交流！

## 鹿子舞交流会開催のお知らせ

伝統芸能である各地区の鹿子舞が一堂に集う『鹿子舞交流会』が次の通り開催されます。鹿と獅子が楽しく踊る素敵なイベントとなっておりますので、ぜひ皆様来場し伝統芸能を肌で感じてください！

◆日程 1月18日(日)

◆時間 10時～

◆場所 あゆみ交流ホール

★お問い合わせ先  
鹿子舞交流協議会事務局  
(石井)



☎080・6094・8439



厚沢部中学校で講義

12月8日(月)、厚沢部中学校の1年生を対象に、町が取り組む「脱炭素推進事業」について講義を行いました。町の人口減少等の課題を脱炭素と併せて解決していく取組について政策推進課の木口主幹より説明を受けると、生徒たちは、環境に配慮したエネルギーが身近にあることを実感した様子でした。

町では今後も環境配慮への醸成に努めてまいります。



▲町の脱炭素事業についての授業

館小学校で省エネ体験

同日、檜山振興局の主催により、館小学校5、6年生を対象にした「省エネ・節電クッキング」が開催されました。講師として「北海道地球温暖化防止活動推進員」の宮森芳子氏が来校し、電気炊飯器を使わないガスと保温調理を用いた省エネクッキングで、わかめおにぎりを作りました。調理中は、地球温暖化の問題についても考え、省エネでもふくら炊きあがったお米でおにぎりをにぎりました。



▲省エネおにぎりを作ったよ！

「人権作文・ポスターコンテスト」

8名を表彰

「人権作文・ポスターコンテスト」の表彰伝達式が行われ、受賞した8名の生徒に、賞状と記念品が贈呈されました。このコンテストは身の周りにある様々な人権問題について考えてもらい、豊かな人権感覚を身につけてもらうことを目的に行われています。



厚沢部中学校 古館さん



厚沢部小学校 太田さん



厚沢部中学校  
上列左から松橋さん、古館さん、二宮さん、三上さん  
下列左から福島さん、増崎さん、藤岡さん

	表彰者名	タイトル	受賞名
作文の部	古館ひかり (厚中3年)	「友達とは」	函館地方大会 優秀賞
	藤岡 百恵 (厚中2年)	「手のひらを太陽に」	江差地区大会 最優秀賞
	福島 侑衣 (厚中1年)	ネットの人権	江差地区大会 奨励賞
	増崎 彩 (厚中2年)	特別扱いじゃなくていい ～みんなと一緒にいい～	
ポスターの部	太田 颯馬 (厚小6年)	思いやりあふれる世界をつくろうよ	函館地方大会 優秀賞
	二宮 悠 (厚中3年)	本当に幸せですか	函館地方大会 奨励賞
	松橋 咲綾 (厚中3年)	つなごう その手と心	
	三上 響太 (厚中3年)	本当の顔は 笑ってますか？	江差地区大会 奨励賞

厚沢部中学校1年生  
「厚沢部町の魅力」を動画で発表

12月18日(木)、厚沢部中学校1年生は、厚沢部町の魅力をテーマに動画を作成し、校内で関係者に向け発表しました。

テーマごとに、実際に生徒たちがインタビューした様子も動画に盛り込まれていました。

今春から総合的な学習の時間で厚沢部町の魅力を7つのテーマに分類して調べ学習していました。館城の歴史や豊かな自然、あつさぶメーカーのおいしさ、地域の人等の

あつさぶメーカーの魅力をもとめた田村笑さんは、「あつさぶメーカーの歴史を知ることができた。積み上げた歴史がメーカーのおいしさに繋がっていると感じた」と述べました。



▲AIでナレーションが入れられており、先端技術を使いこなして動画を作成していました。

新基準消防団員用活動服で心機一転！  
「現地教育訓練」を開催

11月30日(日)、厚沢部町総合体育館および図書館において「現地教育訓練」が開催されました。

訓練には、山田健喜消防団長以下、幹部団員36名が参加し、講師の指導のもと、真剣な眼差しで知識並びに技術の習得に励みました。

北海道消防協会檜山地方支部の事業の一環とし、北海道消防学校より2名の講師を招き、効果的な消火戦術「火災防御」の習得や、部隊の統制・指揮能力の向上を目指す「小隊訓練」に取組みました。

また、本年度、消防団員の安全確保と装備の充実を図ることから、消防団員が現場活動や訓練で着用する活動服上下、防火衣一式と現場活動用長靴が新しくなり、安全性と



▲防火衣と長靴が新しくなりました！



▲座学訓練も行いました！

機能性に加えデザイン性も向上され、心機一転「新基準消防団員用活動服」を着用し訓練に臨みました。

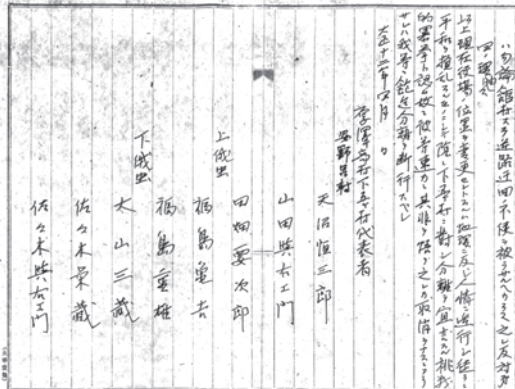
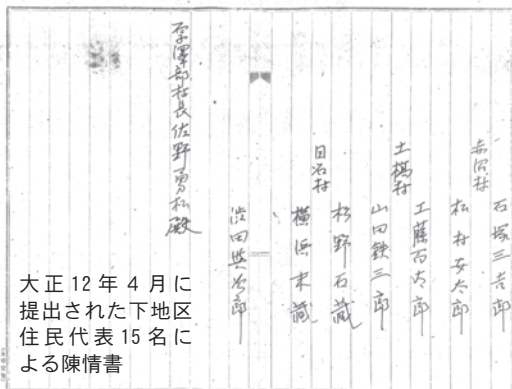
山田健喜消防団長より「新しい活動服で、士気向上を資するとともに、訓練で学んだことを今後の活動に生かしてほしい。」と訓示があり、訓練に参加された団員たちは決意も新たに、地域の防災力強化へ意識を高めました。



大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点



たいのは「対話」です。保護者や地域の皆様のご意見はもちろんのこと、学校の主役である子どもたち自身の「こんな学校で学びたい」という生の声を積極的に聞き取る機会を設けてまいります。大人と子どもが共に未来の学校像を描き、町全体にとっても魅力ある学校づくりを目指して議論を深めていく所存です。

また、教育のデジタル化について、更新整備した新しい学習端末の活用が始まります。AI等の先端技術も視野に入れながら、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

教育は、町の未来そのものです。子どもたちが誇りを持ち、安心して夢に挑戦できる厚沢部町であり続けるために、本年も教育委員会一丸となつて全力で取り組んでまいります。町民の皆様におかれましては、本年も変わらぬ温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとつて幸多き、実り豊かな一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

## 社会教育通信

### 新資料からみる役場移転問題



明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。町民の皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、長きにわたり地域の皆様に愛されていた鶉小学校と厚沢部小学校が統合し、新生・厚沢部小学校として新たな歴史を刻み始めた節目の年でした。新たな環境の中で子どもたちが互いに刺激し合い、たくましく成長している姿を目の当たりにし、改めて教育環境の充実の重要性を実感しております。

さて、本年は、厚沢部町の未来を拓く「義務教育学校」の設立に向けた動きが本格化する年です。これまでの検討委員会での議論を土台とし、令和8年度からは新たに実務的なワーキンググループを設置いたします。この場では、新しい学校のハード面・ソフト面の詳細な検討を進めてまいります。何より大切にしたいのは「対話」です。保護者や地域の皆様のご意見はもちろんのこと、学校の主役である子どもたち自身の「こんな学校で学びたい」という生の声を積極的に聞き取る機会を設けてまいります。大人と子どもが共に未来の学校像を描き、町全体にとっても魅力ある学校づくりを目指して議論を深めていく所存です。

また、教育のデジタル化について、更新整備した新しい学習端末の活用が始まります。AI等の先端技術も視野に入れながら、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

教育は、町の未来そのものです。子どもたちが誇りを持ち、安心して夢に挑戦できる厚沢部町であり続けるために、本年も教育委員会一丸となつて全力で取り組んでまいります。町民の皆様におかれましては、本年も変わらぬ温かいご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、本年が皆様にとつて幸多き、実り豊かな一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

大正12年(1923年)2月、村役場を鶉村に移すべきとする建議書が提出されました。建議書の提出者は鶉村、館村の村会議員でした。当時の村会議員12名中8名が建議書に名を連ねており、賛成多数で村議会で可決されました。館・鶉地域の住民も同年3月に申合書を提出し、役場移転の大勢は決したかにみえました。しかし、当時の佐野勇松村長は決定に慎重な姿勢を示しました。

一方、役場所在地の下地区住民も黙ってはいなかったようです。この経過を示す資料が令和7年9月に郷土資料館に寄贈されました。

大正12年4月に村役場に提出された陳情書は「厚沢部村下五か村代表者」の名義で天沼恒三郎以下15名の住民代表が名を連ねています。請願書の趣旨は、同年2月に提出された建議書への反論で、4点

## 年頭挨拶

教育長 高野政人



## 1月の主な学校行事

- 14日(水)教職員研修
- 15日(木)3学期始業式
- 21日(水)厚沢部小授業研修
- 29日(木)町内ICT授業研修

## おすすめ新着図書

●「国宝 上下巻(朝日文庫)」吉田修一(著)(朝日新聞出版)映画化で話題の作品。生い立ちや才能の違う役者2人が、芸の道を究め頂点を目指して駆け抜ける。【青春篇(上巻)】花道篇(下巻)】。



●「死んだら永遠に休めます」遠坂八重(著)(朝日新聞出版)パワハラ上司が死んだらしい。容疑者は：部下全員!?!真相に近づくほど怖くなる、限界会社員ミステリー。





## 認知症サポーター養成講座を実施しています

地域包括支援センターでは認知症になっても暮らしやすいまちを目指し、認知症を正しく理解し、地域で暮らす認知症の方やその家族を見守る「認知症サポーター」の養成講座を行っています。

今年度は2回開催しており、12月6日(土)の講座では、15名の方が参加され認知症についての講義と各グループ事例をもとに、自分たちができることを話し合いました。これまでの参加者からは、「受講してよかった」「実体験を話してくれてわかりやすかった」「やられたくないことはしない、さりげなく見守りたい」などの感想をいただいています。

町内会や複数人の個人を対象に認知症サポーター養成講座の出前講座も行っており、今後は認知症サポーター受講者を対象にしたステップアップ講座の開催を予定しています。



【問合せ先】保健福祉課 地域包括支援センター係 ☎67-2299

## 民生委員・児童委員一斉改選のお知らせ

任期満了に伴い、令和7年12月1日、厚生労働大臣から民生委員・児童委員に次の18名が委嘱されました。また、同日付けで厚沢部町から福祉委員を委嘱されています。

皆さんの身近な相談相手となり、地域と行政のパイプ役として活動します。個人の秘密は守られますので、日常生活で何か困ったことや悩みごとがありましたら、気軽にご相談ください。

担当地区	氏 名	担当地区	氏 名
美和	廣澤 カツエ	鶉町	八重樫 洋子
本町 【主任児童委員】	佐藤 祐子	木間内・社の山・旭丘	菊地 佳世子
新町1区	近藤 良信	相生・共和	森高 貴子
新町2区	泉 エツ子	新栄・当路	澤口 安秀
赤沼町1区	森 稔彦	南館町・城丘	松岡 万理子
赤沼町2区	菅野 志津子	館町1区・中館（甲線） 【主任児童委員】	谷口 匡佐子
上里	飴谷 あけみ	館町2区・中館（乙線）	中山 恵美子
滝野・稲見・清水	鷲田 寿永	館町3区	尾留川 ゆかり
鶉	川村 龍子	富里・須賀	松橋 恭子

【問合せ先】保健福祉課 福祉係 ☎64-3319

## ねんきん講座

20歳を迎える皆さん！

国民年金の加入手続きを忘れずに！

国民年金は、老後の所得保障だけではなく、病気やけがで重い障害が残ったりしたときなどにも年金を支給し、思いがけない人生の「万が一」もサポートする公的年金制度です。

『義務と権利』

日本国内にお住まいの20歳から60歳までのすべての方は、国民年金に加入して保険料を納付する義務があり、年金を受け取る権利があります。

『加入について』

20歳になった方は、日本年金機構から国民年金(第一号被保険者)に加入したことをお知らせします。

20歳になってから概ね2週間以内に「基礎年金番号通知書」、「国民年金加入のお知らせ」、「国民年金保険料納付書」、「国民年金の加入と保険料のご案内」、「保険料の免除・納付猶予制度と学生納付特例

制度の申請書」、「返信用封筒」が送付されます。

「基礎年金番号通知書」は、加入する年金制度の変更手続きや年金の請求手続きなど一生をとおして使用しますので、大切に保管してください。

サラリーマンや公務員の第二号被保険者の方や、その第二号被保険者に扶養される配偶者の第三号被保険者の方は、勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きや国民年金の加入のお知らせの送付はありません。

20歳になってから約2週間程度経過しても「国民年金のお知らせ」が届かない場合は、国民年金の加入手続きが必要なため、お住まいの市区町村もしくはお近くの年金事務所まで手続きしてください。

『保険料の猶予・免除』

学生であるなど、収入が少ないために国民年金保険料の納付ができない場合は、申請

により保険料の納付が猶予・免除となる制度があります。

この申請を行わないまま、国民年金保険料が未納となっていると、「万が一」のときに障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招きますのでご注意ください。

「学生納付特例制度」は、所得がない学生の方のご本人の申請により保険料の納付が猶予される制度です。年金を受け取ることができなくなることや、不慮の事故等により障害が残ってしまった場合に、障害基礎年金を受け取ることができなくなることなどを防止するための制度です。経済的な理由等により保険料の納付が困難な方のために、「保険料免除制度」や「若年者納付猶予制度」もあります。

【問合せ先】住民係

☎64-3313

## 地域魅力化プロジェクト

やってみたいことリスト

あそび基地に「やってみたいことリスト」を設置しました。こどもたちの中には、ふと浮かんだ「やってみたいこと」があっても、それをどう形にしたらよいのか分からなかったり、人に伝えることに気後れしたりする姿があります。そこで、思いついた時にそつと書き残せる場所をつくりました。紙に書くことで一歩踏み出しやすくなり、アウトプットへのハードルも下がります。

リストには早速、「自分ア

ピール大会」「みんなで、すぐくない博物館」をつくる」など、個性の光るアイデアが並びました。読んでいるだけでワクワクする内容ばかりで、こどもたちの発想の豊かさには本当に驚かされます。掲示しておくことで、ほかのこどもやスタッフも目にしやすく、実現に向けた動きにもつながります。まずは身近



▲やってみたいことを書き出しました！

【地域魅力化コーディネーター 宮脇 いずみ】



## 1月の休日当番医

急遽変更になる場合がありますので予め確認願います。(17時以降は道立江差病院が当番医となります)

(受付時間…9時～17時)

当番医	病院名(電話番号)	当番医	病院名(電話番号)
1月1日(木)	佐々木病院 (52-1070)	2日(金)	厚沢部町国保病院 (64-3036)
3日(土)	道立江差病院 (52-0036)	4日(日)	勤医協診療所 (52-1366)
10日(土)	佐々木病院 (52-1070)	11日(日)	乙部町国保病院 (62-2331)
12日(月)	上ノ国診療所 (55-2017)	17日(土)	勤医協診療所 (52-1366)
18日(日)	佐々木病院 (52-1070)	24日(土)	乙部町国保病院 (62-2331)
25日(日)	道立江差病院 (52-0036)	31日(土)	厚沢部町国保病院 (64-3036)



## 1月の外来診療情報



### 厚沢部町国保病院 (64-3036)

**受付時間** 午前… 8時30分～11時30分  
午後… 13時30分～15時00分

※診療日は予定であり、医師の出張などで変更する場合があります。事前に病院へご確認ください。  
※眼科診療は事前に予約していない方も診療日当日の予約に余裕があれば、受診が可能な場合もありますので、お問い合わせください。

診療科	診療日
内科	月～金曜日 (祝祭日は休診)
外科	月～金曜日 (祝祭日は休診)
眼科	6日(火) 7日(水) 午前のみ 20日(火) 21日(水) 午前のみ

### 北海道立江差病院 (52-0036)

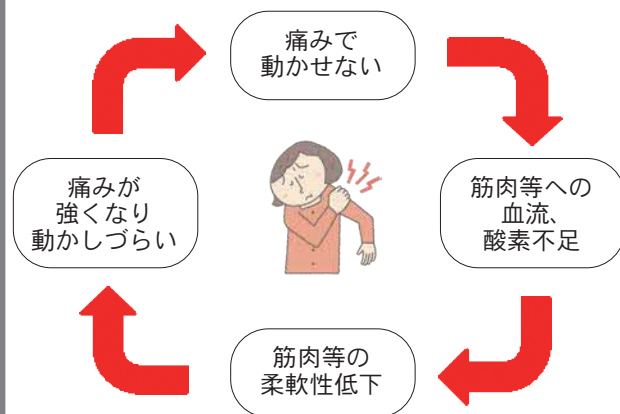
**受付時間** 午前… 8時00分～11時30分(初診は9時00分～)  
午後… 13時00分～14時30分

※予約受付時間(定期患者のみ)13時00分～16時00分  
※診療日は予定であり、変更になる場合もあります。

#### 肩関節周囲炎について

○炎症期と拘縮期では痛みが違います。  
判断を間違えやすい「肩の痛み」

1. 痛くて動かせない  
痛み→動きの制限「炎症期」



痛みはその動きは危険という身体からのサインでもあります。痛いと感じる動作は避けるようにしましょう。拘縮期については次回へつづく

※日本理学療法士協会：理学療法ハンドブックより  
理学療法士 田口 明

診療科	診療日
総合診療科	午前 月～金曜日(午前11時迄の受付) 午後 月・水・木・金曜日(午前11時迄の受付)
整形外科(完全予約制)	午後 金曜日
循環器内科	午前 初診は月・火・木・金曜日(水曜日の再診は予約のみ) 午後 初診は月・金曜日(木曜日の再診は予約のみ)
消化器内科	午前 16.30日(午前11時迄の受付) 午後 16.22.30日(完全予約制)
呼吸器内科	午前 金曜日(午前11時迄の受付) 午後 木曜日
神経内科	午前 9.23日
総合診療科(外科)	午前 火～木曜日
外科	午前 26日(午前11時迄の受付)
小児科	午前 月～金曜日 午後 火と木曜日(午後3時～4時の受付)
泌尿器科	午前 月・火・水・金曜日(11月から木曜午前休診) 午後 木曜日
精神科	午前 月～金曜日(初診は完全予約制) 午後 月・火・水曜日(完全予約制)
産婦人科	午前 5.6.20日(午前11時迄の受付) 午後 5.19日
耳鼻咽喉科	午前 7.8.13.14.21.22.27.28日(午前11時迄の受付) 午後 7.21日
眼科	午前 8.22日(予約以外の初診受付11時迄) 午後 7.21.28日
皮膚科	午前 火曜日

【広報あつさぶは町ホームページでカラー配信しています】

## 食生活改善協議会

## 今月の簡単レシピ

### けいらん

(5食分)

【材料】	【数量】	【作り方】
白玉粉	150g	①だし汁は作っておきます。
水	130cc	②ボウルに白玉粉を入れて、水を少量ずつ加えてよくこねます。仕上がった生地を10等分に分けておきます。
こしあん	150g	③②の生地を手のひらで伸ばし、中にあんこを詰め卵の形に整えます(けいらん)
かつお昆布だし	800cc	④鍋に湯を沸かし、けいらんをゆでます。なべ底から浮き上がってきたら水に取ります。
塩	小さじ1/2	⑤だし汁を火にかけ、調味料を加えます。お椀にけいらんを盛り、だし汁を注ぎます。お好みでゆずの皮や三つ葉を飾ります。
酒・みりん・しょうゆ	各大さじ1	
三つ葉やゆずの皮	適量	



#### 食改からのコメント

たまごの形をした“鶏卵(けいらん)”に見立てた白玉団子の中にあんこが入ったお吸い物です。東北・青森～道南の一部で冠婚葬祭の行事食として親しまれてきました。新年や祝いなどの際は紅白のお団子にしておめでたい門出を迎えた一品です。

## 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」 「今こそ備えを」

「北海道・三陸沖後発地震注意情報」とは、日本海溝・千島海溝沿いの想定震源域で、マグニチュード(M)7以上の地震が発生した場合、次の巨大地震への注意を促すために発表する情報です。  
12月8日(月)に青森県東方沖で地震が起きたことに伴い、翌日9日(火)に当注意情報が発表されたことは記憶に新しいところですが、注意発表後、直ちに避難する必要はありませんが、防災対策をとるべき地域にお住まいの方は、1週間程度は普段の生活を続けた上で、地震への備えの再確認をすることに加え、揺れを感じたり津波警報等が発表された場合には、すぐに避難できる態勢を準備しましょう。  
日本海溝・千島海溝沿いのエリアでは、これまでに繰り返し巨大地震が発生しています。巨大地震は、突発的に発生することが多いものの、こ



のエリアではM7以上の地震が発生した後に、さらに大きなM8以上の巨大地震が続いて発生する例が確認されており、普段と比べて相対的に巨大地震が発生する確率が上がっていることをお知らせするものです。  
突発的に発生し得る地震に備え、自らの命、大切な人の命を守るために、日頃からの準備が大切です。気象台ホームページ等を参考に、防災対応を確認しておきましょう。  
大雪や暴風雪に備える  
渡島・檜山地方の大雪は、発達した低気圧が渡島半島に近づいたときに多く発生し、道路の通行止めや公共交通機関の運休等が発生することがあります。また、暴風雪による視界不良や吹きだまりによって、車の運転等には危険が伴います。加えて、着雪や強風によって電線が切れて停電が発生したり、暖房器具の給排気口が雪で塞がれて一酸化炭素中毒の恐れもあります。  
気象台では、大雪や暴風雪による災害を防止・軽減するため、警報・注意報や気象情報等を発表し段階的に警戒・注意を呼びかけています。大雪や暴風雪が予想されている場合には、無理な外出は控えましょう。  
大雪・暴風雪に関する最新の防災気象情報は、気象庁ホームページで確認できます。

気象庁HP  
「防災気象情報」





広報あつさぶ  
巻末4コマ漫画  
第6回

今年は午年

乗馬は楽しいね



うわっ! 落馬する!!



あ〜穴に落ちちゃう



サバ! HAPPY NEW YEAR!



厚沢部町 ふるさと納税



ふるさと納税で厚沢部町を応援してください!  
(町特設HPは右記から)



厚沢部町公式LINE  
友だち登録を  
お願いします



相続登記・遺言教室の開催

函館地方法務局江差支局では「相続登記・遺言書作成体験教室」を開催します。相続・遺言の基礎知識、相続登記、自筆証書遺言書保管制度について説明するほか、実際に遺言書作成体験をしていただきます。なお、参加者個別の相談をお受けすることは出来ません。皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時 1月15日(木) 14時〜16時

◆場所 法務局江差支局

◆参加費 無料(予約不要)

【問合せ先】  
函館地方法務局江差支局  
☎ 52・1048

~檜山に帰省したみなさまへ~

新発見。再発見。ふるさとの魅力。

▶詳しくは檜山振興局のホームページとInstagramから




【問合せ先】檜山振興局地域創生部地域政策課 ☎ 52-6481

あどがき

▼新年第一号、午年ということで高野さん愛馬の撮影に行きました。放牧場の外で、寒さに震えながら試行錯誤していると、「仕方ないな」と一匹が草を食むのを止め、撫でられるほど近くにきてくれました。穏やかな素敵な表情を撮ることができました。動物と言葉は交わさなくても、なんとなくでも意思疎通できるのが楽しい(嬉しい)ですし、それが動物を飼う醍醐味だと思っています。高野さんが積み上げた馬との信頼に便乗しているに過ぎないのですが、お馬さんめっちゃ可愛いと思いました。

▼家に帰ってお馬さんに会った話を娘にしたら「パパだけずい!」パパが代わりにお馬さんになって!と四つん這いにさせられ、家じゅうを走り回らされました。馬鹿みたいですが、これも子との信頼を積み上げる行動の一つなのだと思っています。

▼さて、今冬、物価高騰対策として当町を含む各地で経済的支援が行われる予定です。それにつけ込んで、給付金や支援金をかたる詐欺の恐れがあります。ウマイ話には騙されずに、疑いの気持ちをもって、時には四つん這いで足元を確認しつつ、石橋を渡りましょう。今年が皆様にとって幸多き一年であることを願っています。  
(あらき)

「福祉灯油」の申請忘れはありませんか?

現在、町では、高齢者やひとり親家庭等の暖房費の一部を助成する冬期生活支援事業の申請受付を行っています。申請期限は令和8年1月30日(金)までとなっていますので申請忘れの無いようお気を付けてください。ご不明な点がありましたらお気軽にお問い合わせください。

【問合せ先】  
保健福祉課福祉係  
☎ 64・3319

運転免許更新時講習

◎まなびつく  
☆1月8日(木)

◆優良運転者講習  
13時〜13時30分

◆違反運転者講習  
14時15分〜16時15分

☆1月22日(木)

◆優良運転者講習  
13時〜13時30分

◆一般運転者講習  
14時〜15時

◆初回更新者講習  
15時45分〜17時45分

インターネット公売のお知らせ

渡島・檜山地方税滞納整理機構では、市町税の滞納により差し押さえた動産のインターネット公売を実施します。インターネット公売に参加する方は、参加申込受付期間中にKSI官公庁オークション内の当機構ページ (<https://kankoch.jp/gov/606616271/?p=au>) で参加申込手続きを行い、その後、入札期間内に入札をしてください。

◆申込受付期間  
1月8日(木)13時  
〜1月26日(月)23時

◆入札期間  
2月2日(月)13時  
〜2月4日(水)23時

◆公売予定物品  
フィギュア、マンガ本、家電製品など

【問合せ先】  
渡島・檜山地方税滞納整理機構  
☎ 0138・47・9599

林業退職金共済制度(林退共)へ加入しませんか?

林業退職金共済制度は事業主の方々が、従事者の働いた日数に応じて掛け金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その従事者が林業界をやめた時に林退共から退職金を支払うという、いわば林業界全体の退職金制度です。

●掛金は、税法上について、法人では損金、個人企業では必要経費となります。

●掛金の一部は国が免除します。

●雇用事業主が変わっても退職金は企業間を通して計算されます。

◆事業主の皆様へ

○共済証紙は労働日数に応じて適正に貼付して下さい。

○共済手帳を所持している従事者が林業界を引退する時は、忘れずに退職金を請求するように指導して下さい。


【問合せ先】  
独立行政法人勤労者退職金共済機構林業退職金共済事業本部  
☎ 03・6731・2889

令和7年分確定申告相談・受付のお知らせ

次のとおり確定申告会場を開設します。

なお、確定申告会場への入場には「入場整理券」(LINE公式アカウントで事前発行もしくは会場当日配付)が必要となり、配付状況に応じて後日の来場をお願いする場合があります。

国税庁  
LINE公式  
アカウント



また、申告書等の作成に当たっては、次回以降の申告をスムーズに行っていたくため、マイナンバーカードを利用したスマホ申告をご案内しています。スマホ申告を行うためには、マイナンバーカードのほか、カード発行時に設定したパスワード(利用者証明用電子証明書及び署名用電子証明書)が必要となりますので、事前に確認をお願いします。(マイナンバーカード及び電子証明書の有効期限にもご注意ください)

税務署では、税務行政のデジタル化における手続の見直しの一環として、令和7年1月から、書面で提出された申告書等の控えに収受日付印の押なつを行っておりません。書面で提出された申告書等の提出年月日は、必要に応じて、ご自身で記録・管理をお願いします。

申告書等をe-taxにより提出することで、メッセージボックスから送信日時や申告内容を確認することが出来ます。

●開設期間  
令和8年2月16日(月)から  
3月16日(月)まで

●相談受付時間  
平日：午前9時から  
午後12時まで

※税務署の閉庁日(土・日・祝日等)は、税務署での確定申告の受付を行っておりませんので、ご注意ください。

●申告会場  
江差税務署 1階会議室

【問合せ先】  
江差税務署  
☎ 0139・52・0078

★★★南部桧山清掃センターからのお知らせ★★★

1月10日・24日(土)は休日のため当施設へのごみの搬入はできません。ごみ収集カレンダーにも掲載しておりますので、ご確認ください。

【問い合わせ先：南部桧山清掃センター (☎53-6301)】



## 戸籍の窓

(12月19日届出分まで)

いつまでもおしあわせに



田中 秀和さん 上ノ国町  
松橋 美怜さん 新町

おくやみもうしあげます

南館町 村田 アイさん (98歳) 11/21  
館町 清水 榮市さん (96歳) 12/6  
新町 小林 貞義さん (93歳) 12/10  
緑町 瀬戸スミレさん (95歳) 12/13

### 町の人口

令和7年11月末現在

	世帯	男	女	人口	前月からの人口増減
下地区	1,043	906	1,015	1,921	(-3)
鶉地区	301	264	281	545	(-3)
館地区	414	358	377	735	(-5)
全町	1,758	1,528	1,673	3,201	(-11)

※外国人住民を含む

### 厚沢部町ふるさと納税寄附状況

(12月20日届出分まで)

今月の寄附件数	40件
今月の寄附金額	2,356千円
令和7年度寄附件数累計	927件
令和7年度寄附金額合計	18,241千円
前年度寄附金額	42,922千円

### 厚沢部町交通死亡事故死 ゼロ記録簿

令和7年12月20日現在

連続 1806日

とき  
間  
を  
刻  
む

認定こども園はぜる  
『はっぴょうかい』

12月13日(土)、認定こども園

はぜる、3歳以上児の『はっぴょうかい』があゆみで開催され、園児は保護者が見守る中、元気いっぱい練習した成果を見せてくれました。

インフルエンザが発表会直

前で流行し、発表会当日お休みの園児も多く残念でしたが、発表会は無事に終了し、参加者全員が笑顔で帰路につきました。



ししまい組 (5歳児) ファッションショー



ししまい組 (5歳児)



たいこやま組 (4歳児)



あゆ組 (3歳児)



たいこやま組 (4歳児) 舞台劇・人魚姫



ししまい組 (5歳児)



たいこやま組 (4歳児)



ししまい組 (5歳児) あおもり体験劇



あゆ組 (3歳児) English コント

広報あっさぶ

令和8年1月号(第745号)

発行 厚沢部町政策推進課政策推進係  
〒043-1113 檜山郡厚沢部町新町207番地  
TEL 0139-64-3312 FAX 0139-67-2815

H P ◇ <https://www.town.assabu.lg.jp>  
E-Mail ◇ [info@town.assabu.lg.jp](mailto:info@town.assabu.lg.jp)

